

# とっとり観光ニュース2013年3月号

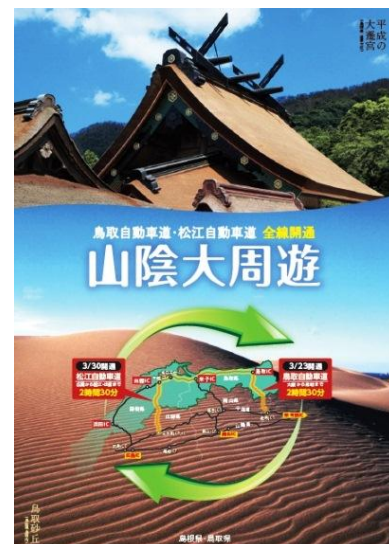
## 1 鳥取自動車道全線開通！ぐるっと周遊を楽しもう

京阪神と鳥取県東部を最短距離で結ぶ「鳥取自動車道（鳥取市－兵庫県佐用町、62.3km）」が、3月23日（土）、いよいよ全線開通します。鳥取自動車道は、中国縦貫自動車道の佐用JCTから鳥取ICを結ぶ高速道路で、鳥取・大阪間が約2時間半で結ばれるなど、鳥取県がますます身近になります。これにさきがけて、鳥取自動車道の河原ICと国道29号をつなぐ県道「河原インター線」も3月10日（日）に全線開通しますので、沿線観光スポットへの立寄りも、とってもスムーズ！しかも鳥取自動車道は「無料」の高速道路ですので、通行料を気にせず乗り降り自在、手軽に周遊をお楽しみいただけます。

鳥取自動車道の全線開通を記念して、2月1日からスタートした「因幡・美作・西播磨ふるさとめぐりスタンプラリー」は、因幡（鳥取県東部）、美作（岡山県美作市、西粟倉村）、西播磨（兵庫県佐用町）の道の駅、観光施設など12の対象施設でスタンプを4つ集めて応募すると、応募者の中から抽選で100名様に、ふるさと特産品セット等の素敵な賞品が当たるチャンス。スタンプラリーに参加してスタンプを2つ以上集めると、対象施設で商品割引サービス等の特典も受けられます。

快適なドライブの途中休憩に便利な道の駅ですが、ついつい買ってしまう特産品や手軽につまめるご当地グルメも楽しみの一つ。西播磨では「道の駅宿場町ひらふく（兵庫県佐用町）」の「鹿コロッケ」、美作「道の駅あわくらんど（岡山県西粟倉村）」では、西粟倉村の特産品であるハウレンソウと米粉を練りこんだバンズを使った「あわくらDE愛バーガー」、因幡では「道の駅若桜桜ん坊（鳥取県若桜町）」の地元鹿肉を使った「もみじカレー」、「道の駅神話の里白うさぎ（鳥取市）」では、白イカ、もさえび、ハタハタ、砂丘らっきょうなど鳥取名物をぎゅっと凝縮した「もさバーガー」など、道の駅めぐりで魅力的なご当地グルメがお楽しみいただけます。鳥取自動車道全線開通でますます周遊が便利になった鳥取因幡へ、お腹を満たしながらスタンプも集める、ドライブ旅行はいかがですか。詳しくは、下記お問い合わせ先ホームページをご覧ください。

さて、鳥取県のお隣、島根県でも、松江自動車道（松江市－広島県三次市、72.0km）が3月30日（土）に全線開通し、広島・松江間も約2時間半で結ばれます。鳥取自動車道、松江自動車道をご活用いただくと、関西や中京、山陽から山陰へのアクセスが格段に向上します。鳥取・島根の山陰両県では、相次いで開通する無料の高速道路を使って、皆様に山陰大周遊の旅を楽しんでいただこうと、「山陰大周遊キャンペーン」を開催。山陰へのドライブ旅行で、WEB宿泊サイトを活用して鳥取県内へお泊りになるお客様へは、うれしいプレゼントやお得な割引が受けられるチャンスです。この機会に両自動車道を活用して、「山陰大周遊」の旅に出かけませんか。



例えば、鳥取自動車道で山陰入り、山陰海岸ジオパークエリア内の鳥取砂丘や浦富海岸などで、雄大かつ繊細な大地の造形に目をみはり、そのまま日本海沿いに「山陰道」を西へ向かって、風情ある白壁の街並みを散策した後のお宿は、世界有数のラドン含有量を誇る三朝温泉へ。遊び疲れた体をゆったりと温め、大地の恵みと日本海の幸に舌鼓を打てば、心も体も癒されます。翌朝、山陰道をさらに西へ向かって、魚と妖怪のまち境港市へ。水木しげるロードで153体もの妖怪ブロンズ像を愛で、愉快で楽しい水木ワールドと、朝どれの海の幸たっぷりの海鮮丼を堪能した後は、出雲大社（島根県出雲市）を経て、松江自動車道で山陽へ向かう周遊コースはいかがですか？

あるいは、山陽から松江自動車道で山陰入り、大遷宮に沸く出雲大社（島根県出雲市）にお参りし、足立美術館（島根県安来市）でアートを堪能した後のお宿は、白砂青松の美しい海岸沿いに広がる皆生温泉へ。こちらは全国的にも珍しい海から湧く温泉で、夏には海水浴も同時に楽しむことができます。“塩の湯”とも呼ばれる皆生の湯は、含まれる塩類がお肌に作用しツルツルにしてくれる、嬉しい美肌の湯です。リフレッシュした皆生温泉で迎える朝日は、神在ります山として崇められる中国地方最高峰の大山（だいせん）方向から昇るので、雄大な山の姿に重なり、幻想的な姿を見せます。大山の麓、伯耆町で、今春、生誕100年を迎える写真界の巨匠・故植田正治氏のモダニズムあふれるオリジナル作品を展示する植田正治写真美術館でアートを楽しんだ後は、「山陰道」を東へ。並行して走る幹線道路国道9号線沿道に降りると、そこは美味しいグルメがたくさん詰まった「琴浦グルメストリート」、魅力的な飲食店が多く立ち並ぶエリアです。鳥取県中部エリアで50年以上愛される「牛骨ラーメン」は、コクがあるのにスッキリした味わいで、飲み干したい美味しさ。アゴ（トビウオ）のすり身カツがジューシーな「アゴカツカレー」も味わっていただきたい逸品です。お腹を満たしたら、「山陰道」をさらに東へ。鳥取砂丘、砂の美術館を経て、鳥取自動車道で京阪神へ向かう周遊コース設定も可能です。

気兼ねなく乗り降りできる、無料の高速道路（松江自動車道、山陰道の一部は有料）ならではの周遊コースを設定して、山陰大周遊の旅をぜひご計画ください。

[因幡・美作・西播磨ふるさとめぐりスタンプラリー]

■対象施設／鳥取県鳥取市・岩美町・八頭町・若桜町・智頭町、岡山県美作市・西粟倉村、兵庫県佐用町の道の駅、観光施設など12施設

■応募方法／対象施設に設置のスタンプマップ、又はフリーペーパー「道の駅」春号（H25年3月中旬発行予定）のスタンプラリー欄を使用し、スタンプラリー対象施設で4つ以上のスタンプを集め、必要事項を記入の上各施設設置の応募BOXに投函するか、切手を貼付して郵送する。

（スタンプの組み合わせは自由だが、2県以上のスタンプが必要）

■期間／2月1日（金）～5月31日（金）まで

（応募締切 5月31日（金）まで（郵送の場合は、当日消印有効））

■問い合わせ先／鳥取市都市整備部都市企画課 電話0857-20-3253

ホームページ <http://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1359419015093/index.html>

[山陰大周遊キャンペーン]

■期間／3月下旬～5月下旬

■内容（予定）／WEB宿泊サイトにて設定されたキャンペーン宿泊プランをご利用いただいた方に、もれなく宿泊特典がついてきます。

## 2 若桜谷（わかさだに）へのドライブも一層快適に。若桜谷の春を楽しもう

国道29号沿線の通称若桜谷（八頭（やず）町・若桜（わかさ）町）へのアクセスも、鳥取自動車道・河原ICから八頭町へ接続する県道「河原インター線」の全線開通（3月10日（日））で、一層快適・便利になります。

河原インター線が接続する八頭町はフルーツの里。八頭町内の国道29号沿道周辺には果樹園が広がり、8月から12月にかけて西条柿、花御所柿をはじめ、二十世紀梨やりんご、ぶどうなど甘く芳醇なフルーツがたわわに実り、もぎたてのフルーツを求める人々で賑わいますが、春ドライブでは、八頭町の春の息吹を感じる自然体験「タケノコ掘り」にチャレンジしてはいかがでしょうか。



（船岡竹林公園）

「船岡（ふなおか）竹林公園」は、国内外の珍しい竹と笹200品種が生い茂る国内有数の竹林公園で、竹の放つ精气で竹林浴を満喫できるスポット。生育状況にもよりますが、例年、4月上旬から5月上旬にかけて園内の「タケノコ掘取園」でタケノコ掘の体験ができます。タケノコは竹の地下茎から出た芽。まだ地中に埋まっているところを探し当て掘り出す体験は、ちょっとした宝探しのように、大変な作業ながら楽しいこと間違いなし。トUGワなど、タケノコ掘に必須の道具も借りられますので、ぜひご家族お揃いでチャレンジください。例年、ゴールデンウィークには、タケノコ掘り、お手製竹トンボの飛距離を競う竹トンボ飛ばしや、タケノコをふんだんに使った昼食などが楽しめる、竹をテーマにしたお祭り「ふなおか竹林まつり」が開催されますので、こちらもお楽しみください。

また、こちらの芝広場を会場に、毎年、県内はもとより愛知県や大阪府、京都府などから、陶芸や木工、ガラス工芸、染織等さまざまな分野の手仕事（クラフト）作家が集結し、展示販売等を行う『鳥取クラフトキャンプ in 八頭』が開催されていますが、4回目となる今年は6月1日（土）、2日（日）の2日間を計画しています。クラフトの展示販売のほか、実際に作品づくりを体験できるワークショップや、軽食、焼菓子、コーヒー等のお店も出展されます。芝広場の開放的な空間で、個性的な作家さんと交流しながら、一人ひとりの作家さんの心のこもった素敵な作品に出会えるチャンスですので、是非ご来場ください。

八頭町の隣町、国定公園「氷ノ山」を仰ぐ豊かな自然に恵まれた鳥取県東南端のまち若桜町は、夏は登山、冬はスキーと、季節ごとのレジャーを楽しめるほか、近畿地方とを結ぶ交通の要地として江戸時代に宿場町として栄えた情緒豊かなまちでもあります。

例年、3月下旬まで春スキーで沸くわかさ氷ノ山スキー場では、恒例のお客様感謝祭を3月10日（日）に開催します。リフト開設50周年を記念して、「50歳の方・小学生以下はリフト無料!」、豪華景品が当たる大抽選会が行われるほか、駐車場も無料開放されます。また、どなたでも気軽にご参加いただけるタイムアタックレース「おちゃらけスキー大会」もアルパインゲレンデで開催されますので、寒さの和らぐ春の氷ノ山で、揃ってスノースポーツをお楽しみいただけますよ。

さて、わかさ氷ノ山スキー場の下谷、標高約800mの山地にあるつく米（つくよね）集落には、「日本の棚田100選」に選定された棚田があります。農地の少ない山地を切り開かれた美しい棚田は、戦国時代から江戸時代にかけて造られたもので、畦畔（けいはん）の多くは





(日本の棚田 100 選 つく米の棚田)

下流の谷から運び上げた雑石により一度崩壊すれば決して復元できないような見事な石積みが施されています。

雪の棚田も美しいですが、5月、水が満ちた100枚の棚田が鏡のように輝く様は美しく、新緑に萌える氷ノ山の豊かな森と調和してこの季節ならではの景観をご覧ください。

また、アクセス向上後のドライブ旅行で目指していたきたいスポットの一つが、「不動院岩屋堂(ふどういんいわやどう)」。修験道寺院の建築として知られ、三徳山三佛寺投入堂(三朝町)と同様、天然の岩窟内にすっぽりと収まる舞台造りのお堂(間口約7m、高さ約13m、奥行約10m)で、昭和28年に国の重要文化財に指定されました。断崖絶壁の岩窟に浮かぶように立つ三徳山三佛寺投入堂(三朝町)には、寄りつくことができませんが、こちらの不動院岩屋堂は、その足もとまで寄って、しっかり姿をご覧ください。

羽柴秀吉が鳥取城攻めの際にこの付近を焼き払ったものの、本尊が火の神様であったため、焼け残ったと言われています。本尊の不動明王は、弘法大師「空海」が33歳のときに彫刻された不動明王で、東京にある目黒不動と目赤不動とともに日本三大不動明王とも言われています。毎年3月28日と7月28日には護摩法要が行われ、本尊の不動明王が一般公開され、普段上がることのできない本堂にてご覧いただくことができます。鳥取周遊ドライブの立寄先のひとつとして、この機会に、ぜひご計画ください。



(不動院岩屋堂)

[若桜谷へのアクセス(鳥取自動車道・河原インター線利用)]  
中国自動車道・佐用JCT-鳥取自動車道・河原IC-県道「河原インター線」(八頭町西御門交差点)-国道29号線  
(若桜まで)約80km(約1時間30分)

[船岡竹林公園]

■場所/八頭郡八頭町西谷564-1

■利用期間/3月1日~11月30日(水曜日休園、祝祭日の場合翌日休園)

■料金/入園無料 ※バンガロー、キャンプ施設併設(有料・要予約)

タケノコ掘り体験(要予約、4月中旬~5月上旬):100円~200円(2~3本/人)

■アクセス/県道「河原インター線」船岡ランプから約4km(国道482号、県道321号利用)

■問い合わせ先/(3月1日~11月30日)船岡竹林公園 電話0858-73-8100

(12月1日~2月末日)八頭町産業観光課 電話0858-76-0208

八頭町観光協会ホームページ <http://www.town.yazu.tottori.jp/dd.aspx?menuid=2115>

[ふなおか竹林まつり(船岡竹林公園)]

■日時/4月29日(月・祝)

■内容/タケノコ掘り体験、竹トンボ飛ばし大会ほか

■問合せ先/ふなおか竹林まつり実行委員会(八頭町産業観光課内) 電話0858-76-0208

[わかさ氷ノ山スキー場感謝祭おちゃらけスキー大会]

■日時/3月10日(日)9:00開始(タイムアタックレースは要申込み)

■アクセス／若桜（若桜駅付近）から約10km（国道29号、国道482号利用）

■問い合わせ先／若桜観光株式会社 電話 0858- 82-0880

ホームページ [http://www.hyounosen.co.jp/contents/50th\\_anniversary.pdf](http://www.hyounosen.co.jp/contents/50th_anniversary.pdf)

#### [つく米の棚田]

■場所／八頭郡若桜町つく米

■問い合わせ先／若桜町観光協会 電話 0858- 82-2237

ホームページ<http://kanko.town.wakasa.tottori.jp/search/watch/nature/tanada/>

#### [不動院岩屋堂]

■場所／八頭郡若桜町岩屋堂

■アクセス／若桜（若桜駅付近）から約6km（国道29号、県道176号利用）

■問い合わせ先／若桜町観光協会 電話 0858- 82-2237

ホームページ<http://kanko.town.wakasa.tottori.jp/search/watch/culture/iwayado/>

### 3 植田正治生誕100年記念フォトフェスティバルはじまる

2013年春は、世界で最も注目された日本人写真家・故・植田正治氏の生誕100年にあたる特別なシーズンです。被写体をまるでオブジェのように配置した植田正治氏の演出写真は、フランスでも日本語表記そのままにUeda-Cho(植田調)として広く知られています。

写真家・植田正治氏のモダニズムあふれるオリジナル作品を展示する、植田正治写真美術館では、この特別なシーズンに、植田正治生誕100年記念フォトフェスティバルを開催。植田正治氏のフォトワールドの魅力について語るシンポジウム、名作を生んだ撮影地を訪ねるバスツアーなど多彩な記念事業が展開されますので、この機会に、ぜひとも、鳥取、大山の麓「植田正治写真美術館」へおいでください。

なお、植田正治写真美術館は、冬季クローズ期間を経て、3月1日（金）にオープンします。同日から企画展“松江ー 植田正治、追憶のイメージ”、4月27日（土）から特別企画展“植田正治の「実験精神」”も開催されますので、こちらもお見逃しなく。

今後も生誕100年記念の特別企画展が計画されていますので、詳細は生誕100年ホームページにてご確認ください。

#### [基本情報]

■所在地／鳥取県西伯郡伯耆町須村 353-3

■アクセス／JR 山陰本線米子駅からタクシーで20分、JR 伯備線岸本駅からタクシーで5分

米子鬼太郎空港からタクシーで40分

米子自動車道「溝口 IC」から車で10分、「大山高原スマート IC」から車で5分(ETC装着車専用) 無料駐車場完備

■営業時間／午前9時から午後5時（最終入館は午後4時30分）

毎週火曜日(祝祭日の場合はその翌日) は休館(2月28日(木)まで冬季休館)

■料金／一般 800円(700円)、大・高生 500円(400円)、中・小学生 300円(200円)

※ ( ) は20名以上の団体料金



■問い合わせ先 / 植田正治写真美術館

電話 0859-39-8000 ホームページ <http://www.japro.com/ueda/>

[植田正治生誕100年記念フォトフェスティバル]

■会期 / 5月3日(金)～6日(月)

■内容 / ・チェロコンサート&シンポジウム「語る、奏でる植田正治の世界」

・撮影地バスツアー

「生家・美保関コース」植田正治氏が生涯暮らした生家とその周辺撮影地を訪ねる

「鳥取砂丘コース」多くの名作を生んだ「植田劇場」鳥取砂丘で〈植田調〉を再現

・ワークショップ「巨大写真を作ろう！」 ほか

※事前申し込みが必要ですので、下記お問合せ先へお尋ねください。

■問い合わせ先 / 植田正治生誕100年記念事業実行委員会 (植田正治写真美術館内)

電話 0859-39-8000 ホームページ <http://shojiueda.jp/>

[松江ー 植田正治、追憶のイメージ]

■会期 / 3月1日(金)～4月12日(金) 午前9時から午後5時 (最終入館は午後4時30分)

#### 4 倉吉絣でまち歩き 春のキャンペーンはじまる！



絵をそのまま織り込んだような複雑な模様が美しい倉吉絣。江戸末期から伝わる伝統工芸の逸品「倉吉絣」の着物を粋に着こなして、白壁土蔵の連なる風情ある街並みを散策してみませんか。昨秋大人気だった「倉吉絣でまち歩き」のキャンペーンが、外歩きが楽しくなる春、かえってきます！

玉川沿いに並ぶ白壁土蔵群は、江戸・明治期に建てられたものが多く、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。玉川に架けられた石橋や、赤瓦に白い漆喰壁の落ち着いた風情のある街並みを歩くと、時間がゆっくり流れていくのが感じられます。

着物(倉吉絣)の着付けが終わったら、さっそく散策スタート。懐かしさに出会う遥かなまち倉吉の風情ある街並みの散策を楽しみながら、絵になるスポットで記念撮影。半日プランのほか、ランチ付きの1日プランでは、今回、3店舗からお好きなものをお選びいただけます。

気になるランチは、昨秋のキャンペーン時に引き続き、擬洋風建築のカフェレストラン白壁倶楽部(赤瓦十三号館・国登録有形文化財指定)の洋食ランチ、先に11月号でもご紹介した老舗餅屋清水庵の名物料理「餅しゃぶ膳」のほか、久楽(くら・赤瓦五号館)の「びん麺」と、魅力的なものばかり。「びん麺」の麺はきしめん。鶏がらと野菜を加え数日間かけて煮込んだコラーゲンたっぷりのスープで、やわらかく煮込む麺と野菜は体にやさしく、塩分控えめでほっとするおいしさ。少し温度が下がると膜が張ってしまうほど濃密なコラーゲンのスープを一滴も残さずいただけるよう、雑炊用のご飯と卵もちゃんとセットされています。女子に嬉しいこのスープ、最後までいただければ、べっぴんさんになること間違いなしですね。

久楽といえば、ご来店のお客様の9割がオーダーなさるといふ石臼で豆を挽いた「石臼コーヒー」が人気ですが、この石臼コーヒーは、砂糖ではなく小豆餡(あんこ)が添えられます。コーヒーに小豆餡?と思われる方、ぜひ、石臼コーヒーの味を確かめに、久楽においでください。

さて、おしゃれ女子の心とお腹を満たすこの魅力的なプランが、特別価格でお楽しみいただ



ける春キャンペーンは、45日間の限定です。女性の着物が中心ですが、男性用の絁もわずかですがございますので、春の散策のご計画が決まったら、お早めにご予約ください。

■キャンペーン期間／3月1日（金）～4月14日（日）

■キャンペーン価格／半日プラン お一人様2,500円（通常3,500円）

一日プラン お一人様3,500円（通常4,500円）

■プランの内容／[半日プラン 13:00～16:00 着付け時間含む]

- ・着物（倉吉絁）レンタル・着付け（ヘアメイクはオプション）
- ・白壁土蔵群・赤瓦のまち歩きガイド
- ・赤瓦周辺のショップで割引優待、プレゼントなど

[一日プラン 10:00～15:00 着付け時間含む]

- ・半日プランの内容＋ランチ（ランチは3店舗からお選びください）  
（洋食）赤瓦十三号館 白壁倶楽部 「スペシャルランチ（デザート付き）」  
（名物料理）町屋 清水庵 老舗餅屋の名物料理「餅しゃぶ膳」  
（麺類）赤瓦5号館 久楽 コラーゲンたっぷり「びん麺（コーヒー付き）」

■問い合わせ・予約先／（株）赤瓦 まちなかスローライフ事業部

倉吉市新町1丁目（赤瓦1号館内）電話 0858-23-6666

ホームページ <http://www.akagawara.net/upload/20130205012233.pdf>

※完全予約制です。前日までにお申し込みください。

## 5 “よく鳴る” “良くなる” パワースポット 鳴り石の浜へ

海岸では美しい砂浜も魅力的ですが、琴浦（ことうら）海岸の西に位置する、花見海岸はごろた石といわれる楕円形の石が集積した珍しい自然海岸です。

打ち寄せる波によって、これらの石がぶつかり合い「カラコロ」と独特の響きが聞こえ不思議なたたずまいを感じさせます。

東西500mに及ぶ鳴り石の浜の調べは、潮の流れや、波が運ぶ石の大きさや量によって音色も違うので、散策してお気に入りのポイントを見つける楽しみもあります。



（鳴り石の浜）

丸石が波にもまれて「カラコロ」ときれいな波音をたてる珍しい鳴り石の浜は、“よく鳴る”浜であることから“良くなる”浜として、縁起の良いパワースポットとしても注目されています。また、鳴り石の浜辺に降りたら、鳴り石で石絵馬をつくることができます。お気に入りの石を手にとって水性マジックで願い事を書いて、“よく鳴れ 良くなれ！”と思いを込めて海に流せば、あなたの石絵馬も波にもまれてカラコロとよく鳴る（良くなる）はずです。鳴り石の浜に設置されたボックスに、水性マジックが常備されていますので、手軽にチャレンジいただけます。

海岸の性質上、散策には歩きやすい靴がお勧めですが、3月24日（日）、鳴り石の浜に待望の遊歩道も完成しますので、外歩きが楽しい季節の楽しみも広がります。遊歩道の完成に合わせたイベントも計画していますので、ぜひこの機会に琴浦の春の散策にでかけてみられませんか。

■場所／東伯郡琴浦町赤碕

■問い合わせ先／琴浦町観光協会 電話 0858-55-7811

## コラム 春の味覚狩りにでかけませんか

春の足音が聞こえたら、甘いフルーツをたくさん食べたい！春のフルーツといえば、真っ先に思い浮かぶのは、いちごでしょうか。おとなにも子どもにも大人気、甘酸っぱいいちごは、味はもちろん、赤くて可愛らしいかたちにも、わくわく心が躍ります。甘い香りが漂うハウスで、甘酸っぱくてみずみずしい摘みたていちごをほおぼる楽しみは、鳥取県内でもご体験いただけます。

また、この季節のスイーツは、真っ赤ないちごが主役。まちのケーキ屋さんでは、王道ショートケーキはもちろん、ムース、タルト、シュークリームなど、色鮮やかないちごが主役のスイーツがディスプレイされています。フレッシュないちごも良いけれど、魅惑のいちごスイーツに目移りするの、この季節ならではの楽しみですね。

さて、鳥取県の東西を結ぶ幹線国道9号沿い、琴浦町の「琴浦グルメストリート」では、グルメ企画第12弾「いちごスイーツパラダイス」を開催中。グルメストリート内の9つの参加店舗では、地元琴浦町産のあきひめいちごを使用したこだわりのスイーツを提供、対象商品の購入でスタンプを集めると、抽選で、幻のシークレットスイーツが当たるチャンスもあります。この機会に華やかないちごスイーツの「はしご」はいかがですか。フレッシュな味覚狩りもいちごスイーツも両方楽しめるこの季節、ご家族、お友達を誘ってお出かけください。

[いちご狩りのできる農園]

岩美郡岩美町、東伯郡湯梨浜町、東伯郡北栄町などでお楽しみいただけます。

■問い合わせ先／鳥取県観光連盟 電話 0859-39-2111

ホームページ <http://www2.tottori-guide.jp/tourism/tour/view/849>

[琴浦ぐるめストリート いちごスイーツパラダイス]

■期間／3月20日（水・祝）まで

■問い合わせ先／NPO法人琴浦グルメストリートプロジェクト（東伯郡琴浦町八橋 294）

電話 0858-52-3816 ホームページ <http://www.kotoura.jp/event14.html>



編集・発行：鳥取県文化観光局観光政策課 電話 0857-26-7237 FAX 0857-26-8308 E-mail [kankou@pref.tottori.jp](mailto:kankou@pref.tottori.jp)  
発行年月日：平成25年2月25日 県内外のマスコミ関係者の皆様に、地元の視点から県内観光スポットや関連イベント等を紹介し、この観光ニュースは、マスコミ等の皆様へ定期的にお届けし、記事等の参考にさせていただけるように心掛けて作っています。しかしながら、紙面には限りがあります。不明なところなどは気軽にお問い合わせください。複製・転載可。（一部画像、文章を除く。）

なお、この観光ニュースの編集・発行は、平成25年3月末をもって、鳥取県文化観光局観光政策課から社団法人鳥取県観光連盟に移管し、平成25年5月号（平成25年4月末発行）から、社団法人鳥取県観光連盟が編集・発行しますので、引き続きご購入くださいますようお願いいたします。

鳥取県観光情報はこちらから → とっとり旅の生情報（鳥取県観光連盟）<http://www.tottori-guide.jp/>